

H22年度 PCAPS研究・QMS-H研究会 成果報告シンポジウム  
H22年度 厚生労働科研 がん臨床研究  
(質評価指標開発研究:飯塚班)成果報告シンポジウム

# 医療社会システムの確立に向けて

2011年3月5日(土)、6日(日) 於:東京大学本郷キャンパス安田講堂

研究会代表:飯塚悦功(東京大学)、研究会副代表:棟近雅彦(早稲田大学)・水流聡子(東京大学)

医療は社会技術です。ここでいう社会技術とは、社会が全体として保有していなければならない技術(目的達成のための再現可能な方法論)という意味です。すなわち、質・安全保証された効率的な医療の提供に必要な知識・技術の体系(BOK, Body of Knowledge)が確立され、然るべき人々がそれらの知識・技術を獲得できて、現実に医療機関において実装され効果を挙げている状況を作り出すための、社会全体が保有すべき方法論です。

医療の質・安全の維持・向上のために必要な知識・技術には、医療に固有の知識・技術とそれらの知識・技術を組織的に活用するためのマネジメント技術の双方が必要です。本シンポジウムでは、この2つの「知」を融合し、「社会知」として運用する「医療社会システム」の構築に向けた議論を、東大安田講堂において、2日間にわたって行います。

臨床知識体系の構築と活用については、臨床知識の構造的視覚化ツールPCAPSの開発・運用状況、すなわち、知識構造化戦略、開発した知識コンテンツ、実臨床での運用事例、調査・研究開発への応用を紹介します。さらに、PCAPSを応用した他の研究プロジェクトとして、診療ガイドライン作成、がん診療情報データベース、小児循環器学会での体系的疫学調査、がん診療プロセス質評価モデルを紹介します。

医療マネジメントについては、医療質マネジメントシステムモデルQMS-H研究について、方針管理、文書管理、QMS教育など本年度の重点課題とその成果を報告します。さらに、QMS-Hの普及・促進に関する取組みとその成果を報告し、今後の課題について議論を行います。

PCAPS (Patient Condition Adaptive Path System: 患者状態適応型パス)

QMS-H (Quality centered Management System for Healthcare: 医療における質中心経営管理システム)

## ■ 1日目:2011年3月5日(土)10:00-17:30

## 「臨床知識の構造化と活用」

- I. PCAPSによる臨床知識の構造化戦略と活用戦略
  - ・診療構造図からの展開
  - ・個別コンテンツと一般化コンテンツ
- II. PCAPS実用化に向けた、実臨床での運用試行事例
  - ・急性期病院
  - ・回復期病院
  - ・周産期
  - ・訪問看護
- III. 運用に向けた臨床知識の構造化
  - ・領域別コンテンツ(オーラルセッション + ポスターセッション)
- IV. 構造化知識の調査・研究開発への活用
  - ・臨床調査への活用
  - ・研究開発への活用
- V. 他プロジェクトにおけるPCAPSの展開(パネルディスカッション形式)
  - ・厚生労働科研(ガイドライン研究)中山班
  - ・厚生労働科研(がん研究)若尾班
  - ・小児循環器学会
- VI. 厚生労働科研(がん臨床研究)飯塚班:パネルディスカッション形式
  - ・がん診療プロセスの質評価モデル及び指標開発
- VII. 代表総括(医療社会システムの構築に向けて)

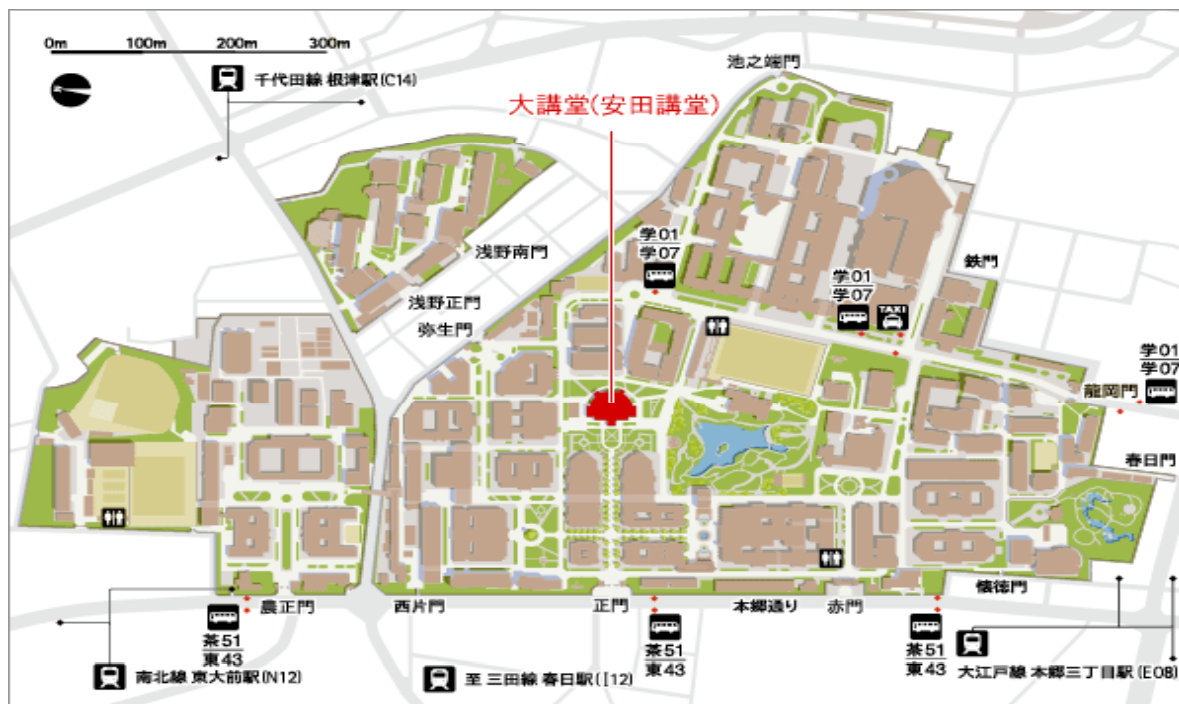
## ■ 2日目:2011年3月6日(日)9:30-17:00

## 「QMS-Hの普及・促進」

- I. 本研究会が目指すべきものとその意義
- II. 本年度の重点課題とその成果
  - ・方針管理
  - ・文書管理
  - ・QMS教育
- III. 医療界におけるQMS-Hの普及・促進
  - ・院内での推進上の課題
  - ・医療界への普及・促進
- IV. パネルディスカッション「QMS-Hの普及・促進に向けて」
  - パネルリーダー:東京大学 飯塚悦功
  - パネルメンバー:QMS-H研究協力病院の推進リーダー・担当者
- V. 本研究会で得られた成果と今後の課題
  - ・開発されたQMS-H要素
  - ・普及・促進に向けての今後の課題
- VI. 総括

(申込方法:裏面をご覧ください。)

## キャンパス周辺図



本郷三丁目駅(地下鉄丸の内線) 徒歩15分  
 本郷三丁目駅(地下鉄大江戸線) 徒歩12分  
 湯島駅, 根津駅(地下鉄千代田線) 徒歩12分  
 東大前駅(地下鉄南北線) 徒歩10分  
 春日駅(地下鉄三田線) 徒歩15分

都バス利用 茶51駒込駅, 王子駅または東43荒川土手  
 操車所前行  
 東大(赤門前、正門前、農学部前バス停)下車  
 学バス利用 学07東大構内行 - 東大(龍岡門, 病院前,  
 構内バス停)下車

### ■参加費(資料代): 当日, 受付にてお支払いください (2日間通しでの参加費です).

一般(JSQC非会員): 4,000円, JSQC医療部会員: 1,000円 / JSQC会員・非部会員: 3,000円  
 PCAPS研究会メンバー病院・PCAPS検証調査協力病院・QMS-H研究会参加病院の職員: 無料

### ■参加申し込み:

必要事項(ご氏名, ご所属, E-mailアドレス, TEL, FAX, 会員種別, 参加予定)を記入の上, 下記 E-mail またはFAXでお申し込みください. この用紙を申込書として, FAXにて送付いただきましても結構です(必要事項を必ずご記入ください).

シンポジウム事務局 E-mail: [pcaps-qms@tqm.t.u-tokyo.ac.jp](mailto:pcaps-qms@tqm.t.u-tokyo.ac.jp) TEL: 03-5841-7299 FAX: 03-5841-7276

PCAPS研究の詳細は, <http://plaza.umin.ac.jp/~A-epath/>をご参照ください

### 【参加申込書】

※1 会員種別欄に下記のa, b, c, dのいずれかをご記入ください.

会員種別 [a.一般(JSQC非会員) b. JSQC医療の質・安全部会員 c. JSQC会員・非部会員  
 d. PCAPS研究会メンバー病院・検証調査協力病院・QMS-H研究会参加病院の職員]

※2 参加予定欄に下記のア), イ), ウ)のいずれかをご記入ください.

参加予定日 [ア). 3/5と3/6の2日間とも参加 イ). 3/5のみ参加 ウ) 3/6のみ参加]

ふりがな 氏名	ご所属	E-mailアドレス	TEL/ FAX	会員 種別※1	参加 予定※2